

1. はじめに

現在、我が国における既設ダムは2,700基を超え、このうち供用期間50年を超えるダムが約1,200基ある。新規ダムの建設が減少している一方で、管理ダムは着実に増加しており、管理ダムの効率的な維持管理が重要な課題となっている。このような背景から、平成14年度以降、これまでの利水ダムに加え国土交通省所管ダムにおいても3年に一度の定期検査が実施されるようになり、ダム施設の劣化状況などを定期的に評価する仕組みができています。しかし、定期検査において補修が必要と判断された場合、その劣化箇所を補修する工法、補修時期、優先度を総合的に判断する手法がないのが現状である。

本調査では、現在までの補修技術を把握するため、既に実施されたダム補修の事例調査結果をもとに、各ダムにおける具体的な劣化の調査方法、補修工法の検討、補修後の状況について、各ダムの資料をもとに補修事例をとりまとめた。

なお、資料のとりまとめにあたっては、各ダム担当者に資料を校正していただいた。ここに記し、深甚なる謝意を表する。